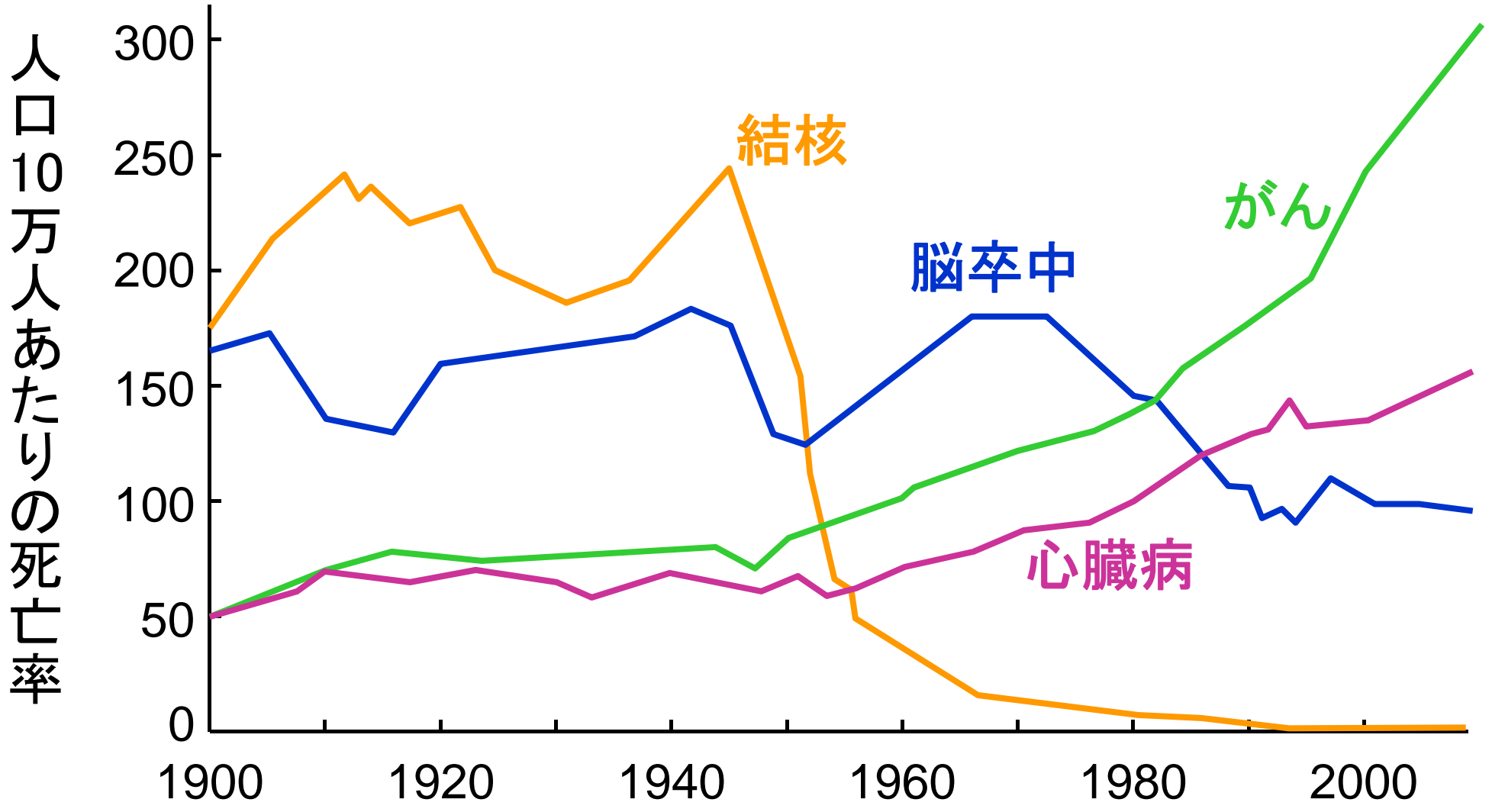


わが国の主な死亡率の変遷



医療福祉をとりまく現状、課題と近未来における的確な対応

【 重要な視点 】

【 必要な対策 】

I. 重点とする疾病

● がん

- ・ 男性50%、女性40%
- ・ 死因第一位
- ・ 治る時代である
- ・ 生活しながら治す
- ・ 一生に何度も、高齢

治すこと！（生活しながら）

- ・ 迅速正確な診断
- ・ 新しい治療法
- ・ 通院外来治療
- ・ 短期入院、患者QOL

● 脳,心血管障害

- ・ 死因第二位
- ・ 発症時の対処が重要
- ・ 発症を予防する時代
- ・ 生活習慣病のレベルで予防

発生時対応と予防！

- ・ 的確な診断治療連携
- ・ 新しい予防的治療法
- ・ 生活習慣病予防対策

● 認知症

I. 広域(全県等)視点の医療

- ・ どののだれにも適切な医療を
- ・ 広域の地理的特性
- ・ 医師不足に対処する

- ・ 遠隔医療
- ・ 情報システムの活用
- ・ チーム医療、医療専門職の育成

I. 地域医療を支え、共に歩む

- ・ 患者さんの量的質的增加に対処
- ・ 患者さんのQOL向上

- ・ 病病診連携
- ・ 連携に機能する人材育成

I. 医療を協働して育む

- ・ 三者の協働
- ・ 医療経済、医療福祉体制を護る

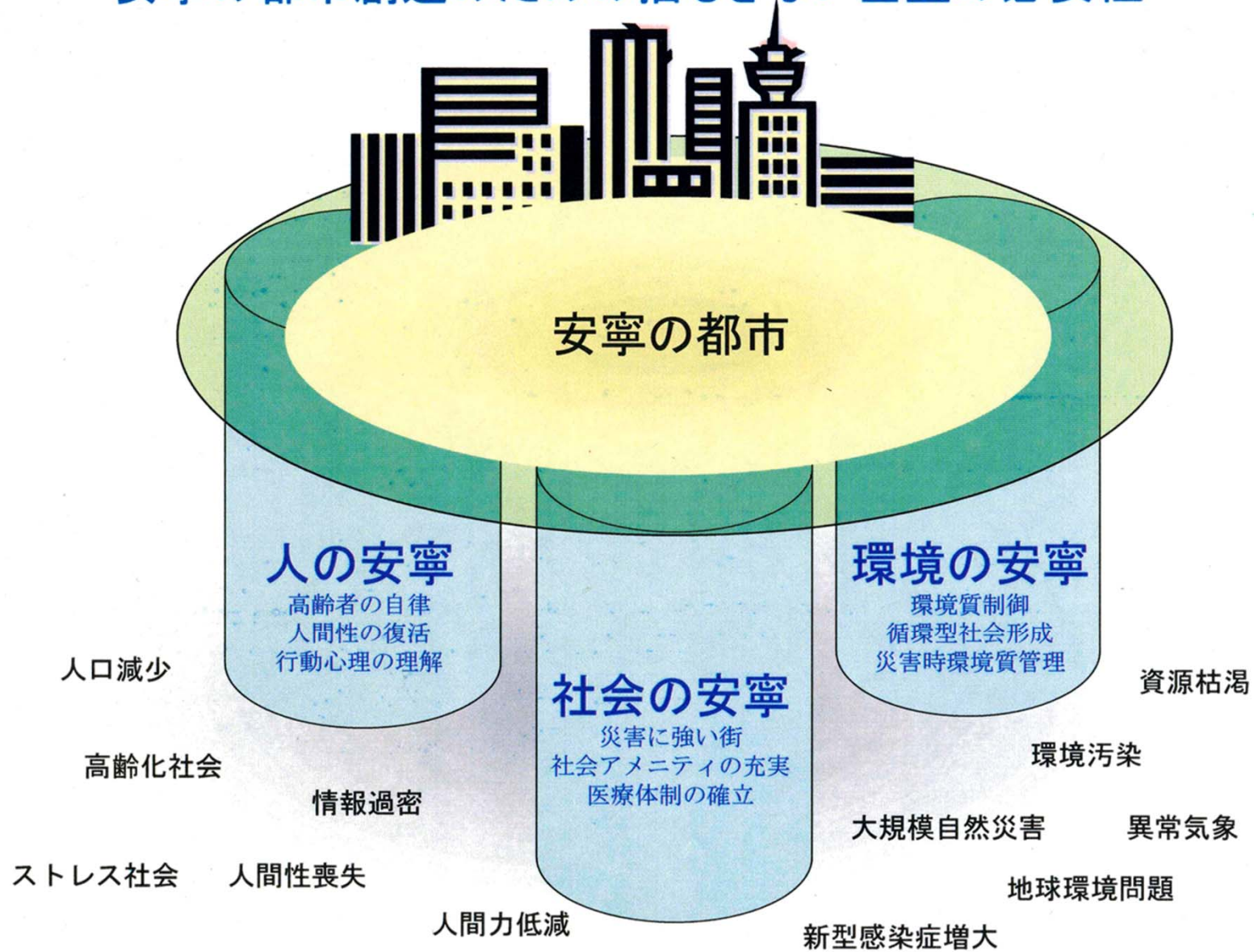
- ・ 患者さんを支え患者さんが自立する
「まかせる、信頼する」ではなく
「自分のからだを知り自ら医療にかかわる」
- ・ 合理的システムの構築

健康生活都市構想

— 三世代が自立・共生し、住み慣れたところで安心して老いる街 —



安寧の都市創造のための揺るぎない基盤の必要性



三世代の望ましい健康像とその具体化

高齢者を中心に

- 高齢者の希望は：自分の存在感、存在場所があり、いきいきと
- 高齢者の自助の誘導
 - ・目標を明確にする：「いきいきとした」高齢者
→ 医療費の合理化に有効
 - ・可能とする背景：生活社会環境、教育（全世代）
子供、若者との共生 → 少子化対策に有効、
共助の成立
 - ・健康の正しい理解：情報提供と教育
- 医療
 - ・病院から → 地域・在宅が中心：組織、システム、医療人育成
 - ・予防
 - ・医療費のかからない（ムダのない）方法

若者を中心に

- 若者の希望は：安心して仕事をする
(病気になるない)
- 健康創生：
 - ・目標を明確にする：「夢のある」若者
→ 医療費の合理化に有効
 - ・可能とする背景：生活社会環境
子供、高齢者との共生 → 少子化対策に有効、
共助の成立
 - ・健康の正しい理解：情報提供と教育
- 医療
 - ・自己健康管理
 - ・精神衛生

子供を中心に

- 「のびのびとした」子供たち
- 自然との共生：社会生活環境、3世代の共生
- 医療
 - ・節度ある需要と供給
 - ・医療機関の機能分化、医療機関と家族

医療にかかわる者として

- 追求すべき望ましい健康を明確に
：「からだの健康とこころの健康を」
- 到達像の確立には医療のみならず教育、環境、文化、防災などの視点
：医学・医療学のみならず自然科学（工学、情報学など）、人文社会科学領域
の広い知財の活用
- 到達像の達成に向けた理論・技術・方法の確立、人材の育成、システムの構築の
トータルデザインの企画、立案
→ 到達像に向けた現時点で可能な作業を始動する。
- その他
 - ① 納得のゆく生涯について考える機会を
 - ② 健康についての正しい理解
(まずは「病気を治す」ことの正しい理解を)
 - ③ 医療についての正しい理解
 - ・皆保険制度の意義
 - ・医療費をかけないことの正当性
 - ④ 医療システムの合理化
 - ・病院診療と地域・在宅医療の連携と適正化
(家庭医、保健師、薬剤師の機能)
 - ・需要抑制と診療抑制
受診回数の減少、入院期間の短縮
 - ⑤ 知恵の活用、ボランティアの活用
- 正しい情報と教育の重要さ！！

—— 近未来型地域・在宅医療の構築 ——

切れ目のない地域の連携に向けて

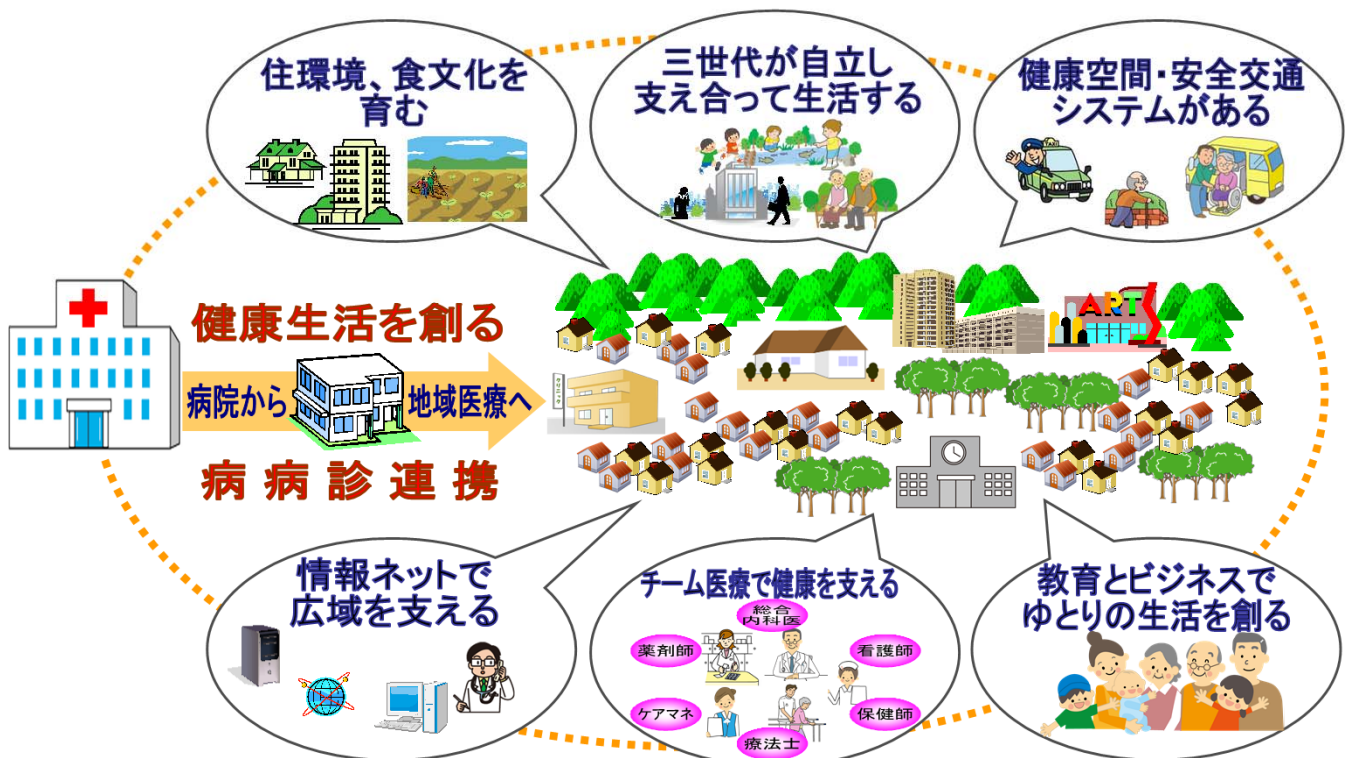
「近未来型地域・在宅医療」

わが国において医学・医療はめざましい発展を遂げ、今や世界一の長寿国となった。国民の最大の関心事は健康であり、益々の医学・医療の発展が望まれるが、一方疾病構造は大きく変化し、医療資源の不足、医療経済の逼迫などから医療体制、保険制度についての検討が急がれる。

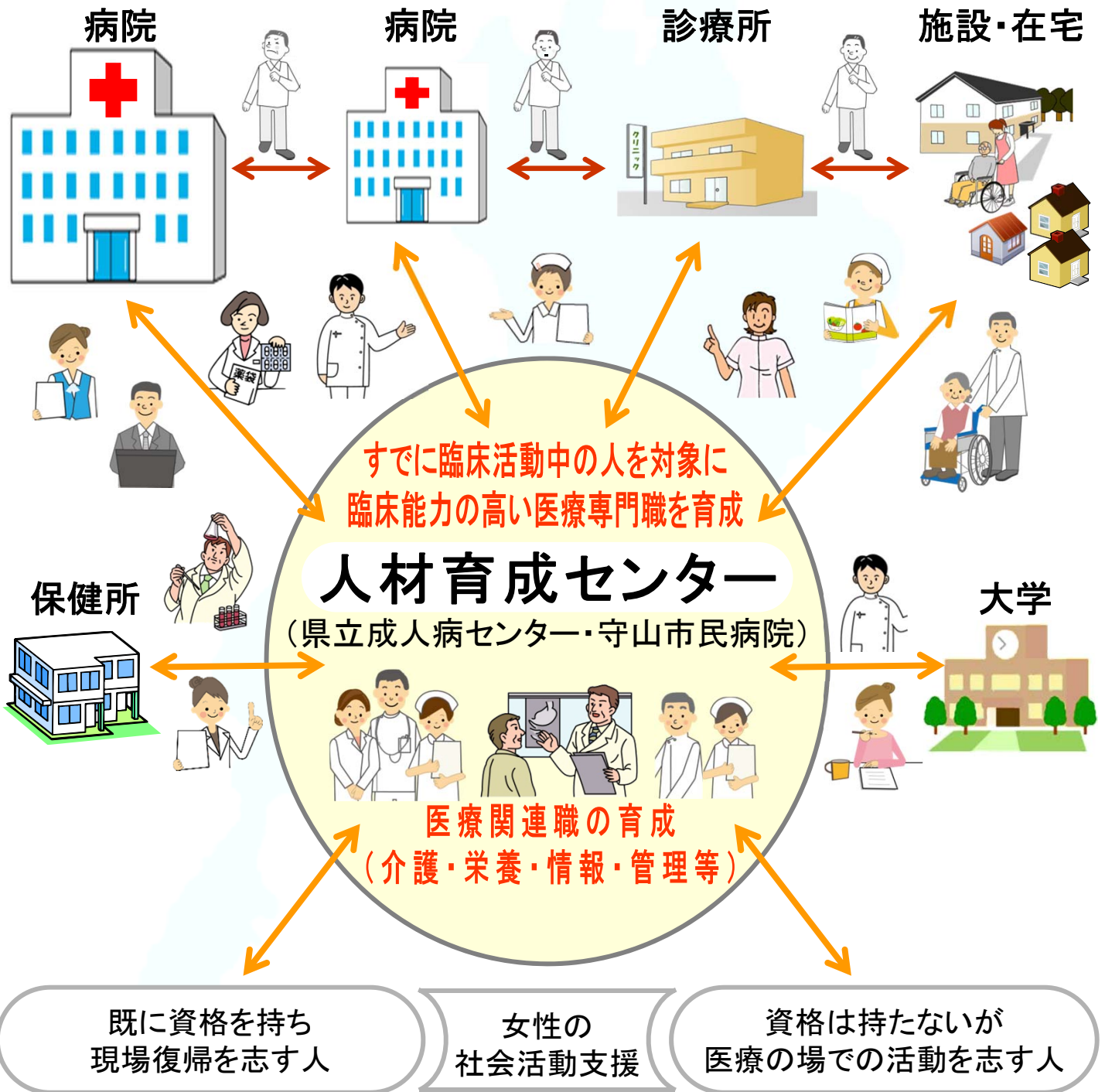
この緊急課題に関する考え方として、従来の病院を中心としたまた医師・看護師を中心とした医療とともに、むしろそれ以上に、地域における医療専門職を主体とした医療福祉が必要であり、そしてこれらを提供する者と利用する者の協働作業が必要である。

人々にとっての望ましい健康は健康的に生活することと位置づける時、自然、文化、食、教育、労働などを備えた生活空間で、三世代が自立・共生するために必要とする医療を構築する。

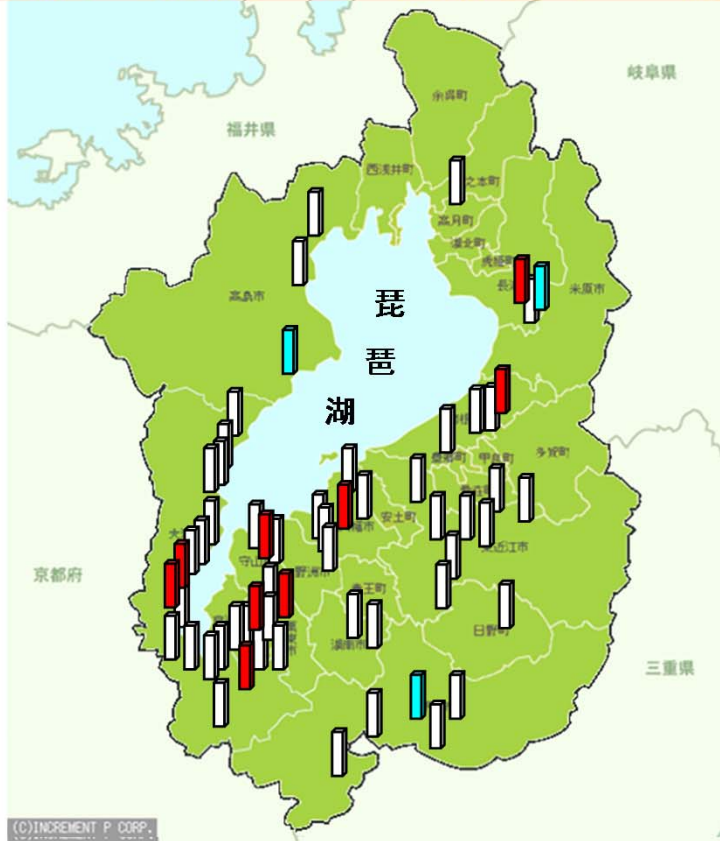
三世代が自立・共生して住み慣れたところで安心して老いる — 地域の医療福祉構想 —



全県医療並びに地域医療を支える人材育成センター構想



滋賀県の病院における病理医の存在の現状



病院数: 60

常勤 病理医 9 施設

非常勤 病理医 3 施設

病理医 不在 48 施設

全国病理医数: 2,085人
滋賀県病理医: 24人

日本病理学会 2010.9.1

バーチャルスライドによるテレパソロジー

技師はいるが病理医がない病院に
的確かつ標本作製後の短時間で病理診断を
医師不足、距離、時間の超越

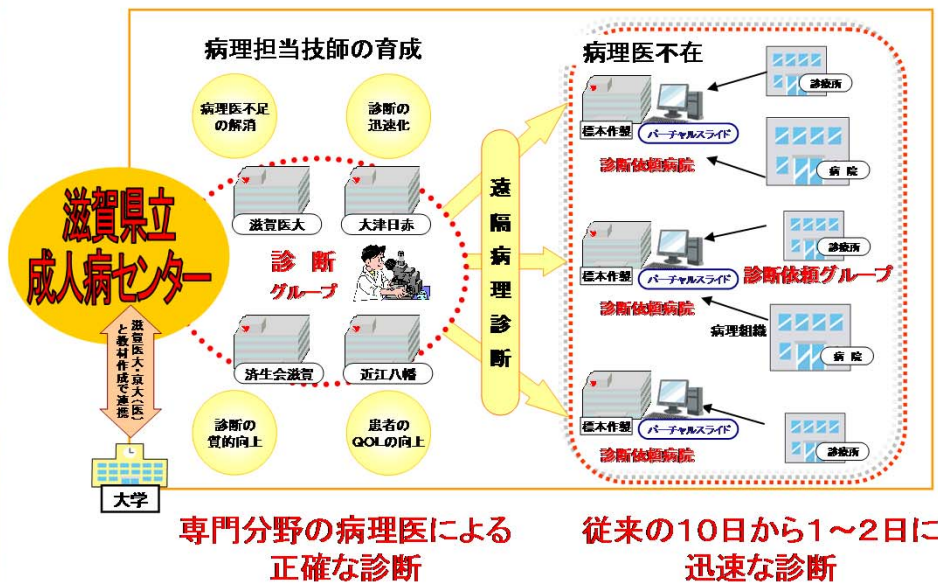
病理標本を見る



診断する



全県型遠隔病理診断 ICTネットワーク事業・イメージ詳細図



BBCびわ湖放送 いきいき健康ライフ

身近な疾病に対する正しい知識、適切な治療方法や予防策、健康づくりへのアドバイスなどをお届けする健康情報番組です。湖国滋賀の拠点病院である滋賀県立成人病センターのスタッフが出演し、県民のみなさまにわかりやすく解説します。

第Ⅰシリーズ 「がんと生活習慣病を識る」

放送回	放送日時		テーマ・出演者 (滋賀県立成人病センター職員)
	日曜 8:54~ 21:48~	水曜 18:54~	
1	11月15日	18日	「望ましい健康を創る」 病院長 笹田 昌孝
2	22日	25日	「病気の正しい治し方 - 本当に病気を治すとは -」 病院長 笹田 昌孝
3	29日	12月 2日	「がんという病気」 副院長 鈴木 孝世
4	6日	9日	「がんを早く見つけるコツ - 総論 -」 消化器内科 水田 和彦
5	13日	16日	「がんを診断する - 画像診断 -」 放射線診断科 南 俊介
6	20日	23日	「がんを診断する - 臨床検査 -」 臨床検査部 齋藤 崇
7	27日	30日	「がんを退治する - 総論 -」 副院長 高倉 賢二
8	1月 3日	6日	「がんを退治する - 外科治療 -」 外科 財間 正純
9	10日	13日	「がんを退治する - 放射線治療 -」 放射線治療科 山内 智香子
10	17日	20日	「がんを退治する - 化学(薬物)療法 -」 呼吸器内科 中谷 光一
11	24日	27日	「がんを退治する - 迎え撃つ体力気力 -」 緩和ケア科 堀 泰祐
12	31日	2月 3日	「がんを予防する」 副院長 川上 賢三
13	7日	10日	「がん患者さんとご家族を支える」 看護部 吉田 智美
14	14日	17日	「がんを迎え撃つ滋賀県のしくみ」 副院長 鈴木 孝世
15	21日	24日	「生活習慣病とは」 循環器内科 池口 滋
16	28日	3月 3日	「糖尿病を治すコツ」 糖尿病・内分泌内科 水野 展寿
17	7日	10日	「高血圧を治すコツ」 循環器内科 小菅 邦彦
18	4日	17日	「みんなで取り組むリハビリテーション」 リハビリテーション科 川上 寿一
19	21日	24日	「正しい薬の飲み方」 薬剤部 勝山 好男
20	28日	31日	「健康生活を創る - 滋賀県において -」 病院長 笹田 昌孝

第Ⅱシリーズ 「お年寄の健康生活を創る」

放送回	放送日時		テーマ・出演者 (滋賀県立成人病センター職員ほか)
	日曜 8:50~ 18:05~ 21:48~	水曜 17:25~	
1	4月 4日	7日	「老いて今を楽しむ」 老年内科 松田 実
2	11日	14日	「高齢者の眼の病気」 眼科 山名 隆幸
3	18日	21日	「高齢者の難聴対策」 耳鼻いんこう科 藤野 清大
4	25日	28日	「丈夫な歯をいつまでも」 歯科口腔外科 津田 善造
5	5月 2日	5日	「お通じを整える」 消化器内科 水田 和彦
6	9日	12日	「正しい排尿習慣」 泌尿器科 大西 裕之
7	16日	19日	「高齢者の骨折予防」 整形外科 清水 彰
8	23日	26日	「脳卒中を防ぐ」 脳神経外科 齋木 雅章
9	30日	6月 2日	「認知症でもいきいきと」 老年内科 長濱 康弘
10	6日	9日	「つらい痛みをしのぐ」 麻酔科 鬼頭 幸一
11	13日	16日	「薬の服用の心得」 滋賀県医薬業務課 勝山 好男
12	20日	23日	「高齢者の栄養バランス」 栄養指導部 大西 久子
13	27日	30日	「健脚をつくる」 リハビリテーション科 中馬 孝容
14	7月 4日	7日	「よい眠りを確保する - 心の健康 -」 緩和ケア科 吉田 勝也
15	11日	14日	「皮膚のかゆみとスキンケア」 皮膚科 服部 ゆかり

第Ⅲシリーズ 「子どもたちの健康を守る」

第Ⅳシリーズ 「がんを克つ」